

A	B	C	D	E	F	G	H								I	J	K	L	M	N	O	P	Q		R	S			
基本 施策 番号	主 な 目 標	事 業 番 号	課 名 団 体 名	事 業 の 概 要			対象者(●:本人 ◎:保護者)								第4次計画策定時の状況			令和7年度事業計画		令和7年度事業実績			令和8年度事業計画			投入コスト (千円)			
				重点 事業	事業名	事業内容	0 5 歳	6 5 1 1 歳	1 2 5 1 9 歳	2 0 5 2 9 歳	3 0 5 3 9 歳	4 0 5 4 9 歳	5 0 5 5 9 歳	6 0 5 6 9 歳	7 0 歳 以上	現状・課題	令和6～12年度の 取組の方向性	令和12年度末目標値	取組方針	実施計画 (評価指標)	実績 (成果)	評 価	評価の理由と課題	取組方針		実施計画 (評価指標)	R 7 予 算	R 7 決 算	R 8 予 算
(8)地産地消の推進	〇地元(静岡市)で生産されたものの増加 ようにしている市民の割合の増加		観光国際課		ガストロノミー ツーリズム推進 事業	南アルプスから駿河湾まで標高差6,000mの自然の中で育まれた豊かな食材と、地域の食を取り巻く人や歴史文化、環境を守りながら食の豊かさを未来に繋げていく、静岡市ならではの食体験「JIMIガストロノミーズオカ」を推進する。	●	●	●	●	●	●	●	●	●	南アルプスから駿河湾までの標高差6,000mの自然の中で育まれた豊かな食材があるが、それを十分に活かし切れていない。	食関連イベントの開催を通じて地元食材や料理、地域の食文化を発信し、本市が食を楽しめる地域というブランドイメージを定着させる。	食関連イベントを年1回開催する。							料理人との交流を通じ、本市の誇る豊かな食材や食文化の魅力を発信する企画を実施する。	1回開催			6,000
(1)栄養バランスに配慮した食生活の実践	〇主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上ほぼ毎日食べている市民の割合の増加		地域包括ケア推進課		高齢者デジタル ポイント事業	65歳以上の高齢者を対象に、健康アプリを活用し、日常生活の活動(歩数・食事・ボランティア等)に応じてデジタルポイントを付与。ポイントはデジタルマネーとして市内商店等において利用可能とする。								●	●	【令和8年度新規事業】 本市の要介護認定者は増加傾向にあり、介護予防の取組を強化する必要があるものの、既存の介護予防事業は参加者が伸び悩んでおり、既存事業に参加していない高齢者の参加を促進する必要がある。	【令和8年度新規事業】 事業を継続して実施し、これまで介護予防活動に参加機会のなかった高齢者の参加を促す。	事業の継続実施						健康アプリを活用したデジタルポイント事業を導入し、これまで既存の介護予防事業に参加してこなかった高齢者の参加を促すとともに、日常的な健康づくりに繋げる。	1か月継続率:70%以上 利用者の満足度:70%以上			7,150	

- 【基本施策】
- (1)栄養バランスに配慮した食生活の実践
 - (2)適正体重や減塩等に配慮した食生活の実践
 - (3)食品の安全・安心に関する知識の習得
 - (4)よく噛んで食べることや楽しく食べる経験を通じた食生活の推進
 - (5)食育の普及啓発・情報発信
 - (6)規則正しい食習慣の実践
 - (7)環境に配慮した食生活の実践
 - (8)地産地消の推進
 - (9)農林漁業生産者と消費者との交流
 - (10)食文化の継承